

第117号 (2018.4.1)

# 居合道だより



▲居合道初心者体験教室 修了証授与

# はじめに



▲審査会風景

ある日突然枯れ木に花が咲く。日本のおとぎ話「花咲か爺さん」の灰を撒くところなのかと思わせる桜花爛漫のこの頃、スポーツも選抜高校野球、カーリング女子世界選手権、サッカーw杯最終予選等まさに花盛りである。

賭博問題を抱えてのプロ野球開幕やなにかと問題の多い横綱とふがない日本人力士

を抱えた大相撲の理事長選出、オリンピック予選敗退のなでしこジャパン再建等は難題を抱えての出発であろう。

何も思わず過去の栄光に浸っていたり、手をこまねいて当たり前のように過ごしていたら、否、気付いていても現状打開の打つ手が少しでも遅れたら、組織はいつか取り

返しのつかない問題が発生して必ず衰退の道をたどっていく。

スポーツに限らずローマ帝国をはじめとする古今東西の歴史や超一流企業の吸収合併問題がそれを証明している。

昨年わが居合道部は最高の成果を上げた一年だった。しかしふと気付いてみると会員数の減少、とりわけ若年層の少なさに愕然とする。いや、実は数年前から気付いてはいたのだが、全日本居合道大会開催成功のために目をつぶってきたのである。

昨年末から何度となく団体代表者会議を開催して広く会員の声を聞いてきた。

これからの居合道部の進むべき道についてである。

初めての試みで理事選挙も行った。そこで選出された新理事を中心に今年度は果敢に新しい事業内容に取り組んでいく。

しかしいくら土俵を整備してもそこに上がってくれる会員が増えないことにはどうに

もならない。そのためにはなによりも魅力ある内容にしなければならない。力ずくで参加させるのではなく、会員自らの意志で参加したくなる事業にしなければならない。

こちらはイソップ童話「北風と太陽」。強風で強引に旅人のコートをはぎ取るのではなく、ポカポカ陽気で旅人が自分の意志でコートを脱ぐ。これであろう。

今年度は「県居合道大会の充実」と「会員拡大」の二大目標に絞って活動していく。

そのためにこれからも広く会員の声を聴いていきたい。

三人寄れば文殊の知恵という。「三百人寄れば釈迦の知恵」といきたいものだ。

十年後、二十年後を見据えて、夢は大きく、しかしとりあえず小さな出来ることから始めていきたい。

「着眼大局、着手小局」

# 主な出来事

|          |                                      |            |
|----------|--------------------------------------|------------|
| 3月12日(土) | 第42回北九州居合道大会                         | 北九州総合体育館   |
| 3月12日(土) | 福岡県体育協会表彰式<br>第50回全日本居合道大会団体の部優勝     | 福岡リーセントホテル |
| 3月13日(日) | 福岡県剣道連盟会長特別表彰式<br>第50回全日本居合道大会団体の部優勝 | 福岡武道館      |
| 3月27日(日) | 福岡県剣道連盟居合道審査会<br>団体代表者会議 次期理事会       | 福岡武道館      |

## 4～5月の予定

|               |                |         |
|---------------|----------------|---------|
| 4月9日(土)       | 居合道教士称号筆記試験    | 福岡市     |
| 4月10日(日)      | 第46回福岡県剣道連盟武道祭 | 福岡武道館   |
| 5月2日(土)～5日(火) | 第111回全日本剣道演武大会 | 京都市     |
| 5月3日(日)       | 居合道八段審査会、称号審査会 | 京都市     |
| 5月17日(日)      | 居合道部理事会・総会     | クリエイト篠栗 |

# 会員の声



何で・・・

平成26年度居合道初心者体験教室 受講生

飯塚居合道同好会 初段 安部 茂伸

平成26年度初心者体験教室から始めた居合道。

自分では（年齢62歳）、始めることに違和感は少しもなかったけれど、家族や剣道仲間から今更と疑問符がついた。

自分としては剣道やっている関係でいつかは日本刀の扱いも含め是非ともやっておくべき、また知っておくべきと常々思っていたので、周囲が思うほど特に今更と言う気持ちはなかった。ただ皆無ではないが、年齢的にできるかなあ？と気持ちの片隅には一抹の不安もありましたが・・・。

このような状況で始めて1年半になろうとしていますが、未だ制定あいよ頭では理解できても実際の基本である切り下ろし、血振りなどまだまだできる状態ではありません。もちろん十二本の技のスムーズな一連の動作などとてもできず進歩は牛歩のごとしですが、まだ気持ちは離れていませんし、技の難しさがさらなるやる気を高めてくれているような気がしています。

これから先足腰などが弱り体力的なことも考慮しなければとは思いますが、先生方の教えを真摯に学び居合道に取り組むとともに剣道にも生かし、少しでも両道ともに向上できればと考えています。

今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

# その他

6月14日開催予定の第49回福岡県居合道大会は新たな試みとして団体戦や各段の一般演武等を試行錯誤計画中です。どんな方法が実現可能か広く会員の皆様方の案を募集中です。盛り沢山の参加賞、賞品も考えています。

こぞって楽しい案をご提案下さい。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟 福岡県剣道連盟 居合道部

第117号 平成28年4月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847